



Shikoku
Cancer Center News
No.72

独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター

四国がんセンター ニュース



2020
10
October

基本理念 患者さんの立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。



(伊予郡砥部町 とべ動物園 撮影: 俊野 健治)

愛媛県がん診療連携協議会で電子カルテの共有が進められています。

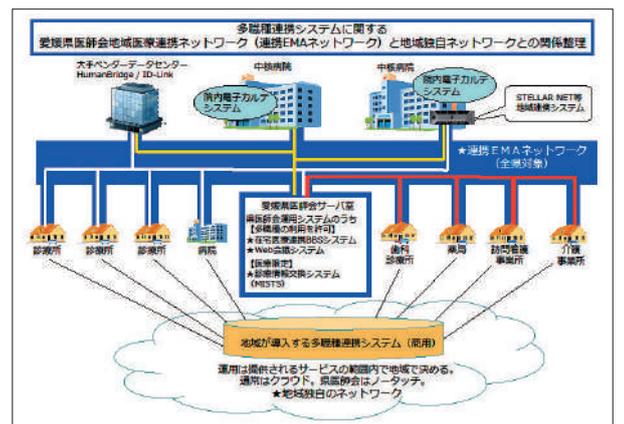
以前は紙のカルテで診療を行うのが当たり前でした。ですが今は全医療機関の約42%、400床以上の医療機関の約85%で電子カルテ(EMR electronic medical record)が導入されています(2017年厚労省医療施設調査結果)。最近では各医療機関の電子カルテを各地域の情報連携により、多施設間での診療情報共有が進められています。

愛媛県がん診療連携協議会でも、愛媛県内のがん医療連携推進を目的に県医師会のインターネット環境を利用して、患者さんの医療情報を多数の医療機関が相互参照できるシステムの構築を始めています(図)。すでにいくつかの基幹病院では周辺医療機関と独自の医療連携システムで情報共有を行っていますが、今後は愛媛県全体の医療機関での相互情報共有を進めていきます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



(特命副院長
河村 進)

※電子カルテの定義：多くの業種が多くの情報を情報システムによって参照・記載でき、真正性、見読性、保存性を確保したもの(2003年日本医療情報学会)



(出典元：愛媛県医師会)

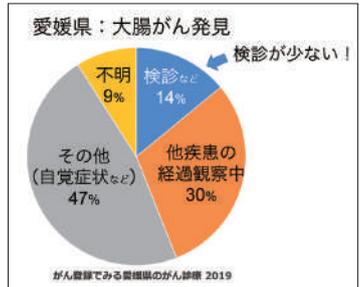
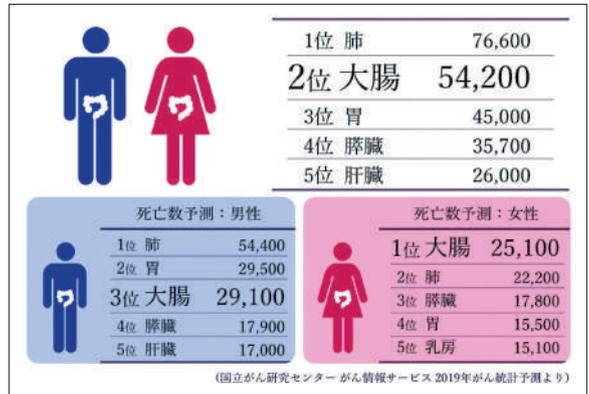


がん治療

最前線

～大腸がん死の増加と検診、ロボット支援下手術、将来展望まで～

日本のがんによる死因で、大腸がんは、女性では1位、男性では3位（がん情報サービス）です。アメリカより日本の方が、人口あたりの大腸がんによる死亡は多い状況です。大腸がん検診は、全てのがん検診のなかでも、唯一の推奨度A（最高）で、明らかに大腸がんを予防し、生命予後も改善させるのですが、まだ十分に知られていないようです。大腸がん検診の強化こそ、皆様の健康にとっての最前線です。他と比べても大腸がんは、早期であればとても治りやすいがんです。コロナ禍での検診控えを危惧しています。今一度、検便や大腸内視鏡検査の重要性を強調します。また、がん専門病院として、大腸がんの治療は勿論、家族への支援（家族性腫瘍相談・チャイルドケアなど）・がん相談支援・仕事の両立支援もフロントランナー（これも最前線！）であることは誇りに思います。私は外科医ですのでゲノム医療は他に任せて、ここでは直腸がん治療の最前線について3つ紹介します。



①直腸がんに対するロボット手術（ダビンチ）：

ダビンチ専用鉗子は人間の手以上に曲がり（多関節機能）、手ぶれしないカメラや鉗子を使用するため、狭くて深い骨盤の中でも安定した視野で精緻な手術が行えます。これまで技術的に特に難しいとされる男性・肥満症例に対し、腹腔鏡治療の欠点を補うことが期待されます。当院では保険診療で治療可能で、患者さんの負担費用は腹腔鏡下手術と同じです。

②根治手術をしない直腸がん治療：

下部直腸がんでは病変部位を切除すると通常人工肛門造設が必要になります。誰も、人工肛門は避けたいと思うのが通常ですが、これまでではできないケースが数多くありました。しかし、最近では、患者さんの意志によっては手術適応である早期がんでも、手術をせずに局所切除（内視鏡切除を含む）＋放射線化学療法で治療する臨床試験に参加できます（根治手術による肛門機能の低下や人工肛門、排尿機能の低下を回避する準標準治療の確立が期待されます）。

③進行下部直腸がんに対する治療：

直腸の横方向に向かう血管や神経に沿った骨盤の奥のリンパ節を郭清する（側方リンパ節郭清）は、主に日本独自にされてきましたが、この方法が局所再発を低下させるとして海外から再評価されています（JCOG0212試験）。一方で、特に予後が悪い局所進行下部直腸がんに対しては、欧米での標準治療である術前放射線化学療法＋手術に、手術までの待機期間に、更に強力な術前化学療法を更に追加する術前治療戦略も開発され（RAPIDO trail）、日本でも臨床試験が検討されています。これらの手術前の治療でがんが消失した場合は、手術せずに経過観察を行うWatch & Waitの方向性も、今後すすむ可能性があります。



個々に応じた治療がなされるために、「がんを治す」かつ「よりよく生きる」ことも同様に重要です。今後は、医療経済も検証される時代になるでしょう。当科の信念は“人に優しく”です。引き続き大腸外科グループを応援してください！

（消化器外科医長 小島 誉也）





感染症の問題は国内に止まらず世界的な健康危機として認識されています。中国・武漢に端を発した新型コロナウイルス感染症が瞬く間に全世界に広がり、私たちの生活に影響を与える大きな問題となっていることは皆様もご存じの通りです。

このような時代の流れに対応し、感染症のリスクを減らし安全にがんの治療を受けていただけるよう、感染症・腫瘍内科は院内ICT/ASTと連携し病院内で起こる感染症を防ぐための様々な活動を行っています。

当院で起こる感染症の特徴として、①がんに対する各種治療（抗がん剤、手術、放射線治療）を受けておられること②患者さんの免疫力が低下しやすいことがあげられます。そのため感染症の対応が遅



れると重症化しやすく、かつ患者さんの間に感染が広がる危険性が常にあると考えられます。

より早く感染症に対処するため、ICT活動としてモーニングカンファレンスを行い、病院全体から提出された培養検査を毎朝確認しております。感染症が起こった際には

各診療科と共同で治療にあたり、専門的な視点からより効果的に感染症を治すための治療方針を提案しています。新型コロナウイルス感染症については最新の情報収集を行いつつ、院内の各部門と連携し病院全体で感染対策を進めています。

がん治療の経過中に発症した感染症を適切に治療でき、患者さんがふたたび安全にがん治療を続けていただけるよう感染症・腫瘍内科はこれからも活動していきます。

(感染症・腫瘍内科医長 濱田 信)



エキスパートナース・メディカルスタッフ

EXPERT NURSE・MEDICAL STAFF

Part.48

診療情報管理士 (医療情報管理室)



四国がんセンターでは多くの診療情報管理士が医療情報管理室で働いています。ただ、直接患者さんと接する機会が少ない職種のため、知らない方も多いのではと思います。

主な業務として、診療録（カルテ）の物理的な管理や内容

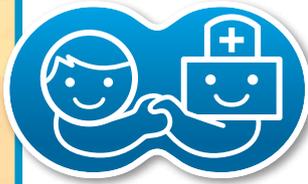
の精査を行う「物の管理」、診療情報をコード化するなどして情報をまとめる「情報の管理」、まとめた情報から必要な情報を取り出し分析する「情報の活用」などがあります。

「物の管理」の一例をあげると、患者さんが検査や手術を行う時に使用している説明文書や同意書の確認作業を行っています。患者さんに説明するのに必要な項目が漏れていないか、伝わりやすい文言になっているか、誤字脱字など不備がないかなど確認作業を行い、文書管理を通じて患者さんが安心・安全な医療を受けられるように取り組んでいます。

「情報の管理」の例として四国がんセンターの診療情報管理士はがん登録業務を積極的に行っています。がん登録とは、がんの診断・治療を受けた全患者について、がんの診断、治療、予後に関する情報を登録する仕組みです。がん登録の情報は集約され、全国のがんの発生頻度や愛媛県のがんの診療情報といったデータに変化し、がん診療の根拠となる情報を作り出します。これが「情報の活用」の一例です。

私たちは医療情報の分野から、質の高い安心・安全ながん医療を提供できる体制作りに貢献していきたいと思っています。

(診療情報係長 白岡 佳樹)



お世話になって医ます

やいた内科・内視鏡クリニック

四国がんセンターは、初診患者さん全てが地域の医療施設からのご紹介です。ここでは、かかりつけ医の皆さまからうかがった、さまざまなご意見をご紹介します。

やいた内科・内視鏡クリニック



今回ご紹介する地域連携医療施設は、やいた内科・内視鏡クリニックです。

四国がんセンターから車で15分程度の松山市東野に位置するクリニックです。2019年5月に開院され、消化器内科診療、特に胃・大腸内視鏡検査に力を入れておられます。一般内科診療に加え、現在はオンライン診療にも熱心に取り組んでおられます。

院長の八板弘樹先生は、2001年に熊本大学をご卒業後九州大学医学部第二内科に入局され、2013年に松山赤十字病院胃腸センターに赴任されました。2017年からは胃腸センター部長として消化器内科診療に従事されてきました。元々お生まれは奥さんとともに福岡でしたが、松山赤十字病院勤務時代に松山の地に縁を感じ、奥さんの理解も得られ開業されることになりました。

診療所の特徴、普段の診療で心掛けていることは？

当クリニックでは、胃・大腸内視鏡検査を中心とした消化器内科診療に力を入れています。

また、いつ何時も患者さんや家族に寄り添った医師、医院でありたいと心掛けています。これからも患者さんの不調や不安に耳を傾け、地域の方から信頼される存在になれるように努めて参りたいと思います。



処置室



内視鏡室

ストレス解消法は？

ゴルフやマラソンと言いたいところですが、無趣味で困っています。車の運転が好きでMT車に長年乗っていましたが、数年前にAT車に乗り換えてから、運転の熱が冷め気味になっています。小学生の子供2人と一緒にゲームをするのも好きですが、つつい手加減なしてゲームを楽しんでしまいます。

四国がんセンターへの要望はありますか？

特別な要望はありません。開業してから何人かご紹介をさせていただきましたが、みなさんととても満足しています。特に噴門部切除では術後逆流に悩まされる患者さんを多く見てきましたが、四国がんセンターに紹介した患者さんではそのようなこともなく満足されていました。高度で専門的な医療に加え、メディカルスタッフの対応も素晴らしいのだと感じています。あえて言うなら、近隣に大きな病院もあり四国がんセンターにどのような患者さんをご紹介すればよいのか悩むことはあります。これからの連携の中で新たな情報があれば教えてください。



左 八板 弘樹 院長、右 橋根 勝義

まだ開業されて1年が経過したばかり、広い敷地内に建てられたクリニックは内部もゆったりとしており、先生のお人柄も相まって非常に居心地の良い空間でした。

(統括診療部長 橋根 勝義)

やいた内科・内視鏡クリニック

- 住 所：〒790-0903 愛媛県松山市東野二丁目2番17号
- 電 話：089-977-7149
- F A X：089-977-7150
- 診療科目：内科・消化器科
- 休 診 日：水・土曜午後、日・祝日



	月	火	水	木	金	土
午前：9:30~12:30	○	○	△	○	○	△
午後：15:00~18:00	○	○	休	○	○	休

※△は12:00までの診療

☑ がんセンターだより

併存疾患センター

2020年4月、がんセンター新館2階のSブロックに、併存疾患センターが開設されました。大きな待合室と明るく広い診察室からなるセンターで、糖尿病内分泌内科、循環器科、皮膚科、眼科、リンパ浮腫外来が診療を行なっています。がんの治療を受けられる方が、他にも治療の必要な病気を抱えておられることは稀ではありません。手術や抗がん剤治療が問題なく行えるかどうかの判断、抱えている病気のコントロール、また、がん治療に伴って生じてくる新たな症状や疾患の診断治療に、併存疾患センターの専門各科が対応してまいります。

糖尿病内分泌内科、循環器科、眼科は、松山市民病院、愛

媛医療センター、愛媛大学附属病院から、専門の医師が毎週決まった曜日に来院して診察しています。より専門的な検査や治療が必要と判断された場合は、それぞれの病院に紹介しています。眼科は、この度のセンターの開設に伴い新設されました。各種検査機器をそろえ、抗がん剤の眼科的副作用への対応、外科的手術の術前眼科診察のほか、角結膜疾患や白内障、網膜疾患などについても診療しています。皮膚科は常勤医がおり、抗がん剤により生じる皮膚障害を含め、皮膚疾患全般の診断と治療を行なっています。リンパ浮腫外来も、当院の形成外科等の医師、リンパ浮腫セラピスト資格を有する理学療法士、作業療法士、看護師がチームで診療しています。皆様のがんセンターでの治療を安心して継続できるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

(併存疾患センター部長 藤山 幹子)



新任医師紹介 New Physician



院長特別顧問

兵頭 一之介

昭和56年に岡山大学医学部を卒業後、第一内科に入局しました。大学院で博士号を取得し、香川県立中央病院を経て、平成3年に国立病院四国がんセンター（当時、堀之内）の内科に赴任しました。平成17年に筑波大学消化器内科の教授に就任しました。そして、この4月から国立病院機構四国がんセンターに15年ぶりに帰ってきました。現肩書きは筑波大学名誉教授、役職は院長特別顧問を拝命しております。専門は悪性腫瘍に対する薬物療法です。この領域は、次々に新薬が開発され、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬などの画期的な薬剤が登場しています。現代のがん薬物療法には分子生物学の知識が必須となりました。ここ四国がんセンターでは、この分野の専門家が多数在職し、ゲノム医療をはじめ最先端治療を提供しています。その一役を担えるよう努力したいとします。これから、どうぞよろしくお願いいたします。



放射線治療科
部長

濱本 泰

2020年4月に放射線治療科に赴任致しました。1990年に愛媛大学を卒業後、山形県で12年あまり働きました。2003年4月から2011年8月まで当院に勤務しました。この度、約9年ぶりに四国がんセンターに勤務させてもらうことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。専門：放射線治療 趣味：読書、犬の散歩



呼吸器外科
医長

重松 久之

4月に愛媛大学附属病院より赴任して参りました重松久之と申します。専門は呼吸器外科です。地元松山東高等学校を卒業後、平成6年に岡山大学を卒業しました。当院で外科の後期研修を行い、20数年ぶりに戻って参りました。胸部悪性疾患、特に肺癌の外科治療に貢献できるようながらばりますのでよろしくお願いいたします。



頭頸科・甲状腺腫瘍科
医長

青井 二郎

5月より頭頸科・甲状腺腫瘍科に赴任いたしました青井二郎と申します。専門は頭頸部腫瘍です。以前は、宮城県立がんセンター頭頸部外科・高知大学耳鼻咽喉科に勤務しておりました。愛媛また四国全体の頭頸部治療に貢献できるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。趣味：楽しむ飲み会



整形外科・リハビリテーション科
医師

沼本 邦彦

令和2年4月より整形外科・リハビリテーション科に赴任しました。2008年にも1年間勤務しており、2度目の赴任になります。その間、国立がん研究センター中央病院で3年研修したのち、高知医療センターで骨・軟部腫瘍を専門に診療しておりました。より良い医療が提供できるように精進していきますのでよろしくお願いいたします。

医者のつよみやき リレーエッセイ



●第十二回 専門医の誕生

このエッセイも前回はお休みだった。前回ためのネタ帳を見ると『アロハ こだわり 継続性 変わる勇氣』と書いてあった。う～む、何を書くつもりだったか全く思い出せない。思い出せてもアロハをマクラにした話を10月号に書くわけにはいかないし、たまには医学のことも書かないとまたボツを食らうかもしれない。そこで今回は『専門医』の話にする。

専門医はその部門を専らとする医師という意味だ。たいていその部門の医学会が認定する。厚生労働省がその学会の専門医制度を保証すれば『広告可能な専門医』となる。

ただし、『専門』の本来の意味は『それ以外の分野には関与しない』と言う意味である。複数の分野で優れていたなら、専門ではない。名刺に専門医資格を2つ書いてある医師がいれば、それはツッコんで良い。逆に『その分野に詳しい、得意である』と言うのは専門であることの余録にすぎない。

私は『病理専門医』だ。病理の専門性はなかなか深い。病理の業界内部は皆病理医なので『病理専門医』だけではアイデンティティの確立が出来ない。そのためほとんどの病理医は細分化された特定の臓器の専門になることを目指す。病理医に限ることではなく、他の分野でも大多数の医師がもっと細分化された特定の病気や臓器の専門医を目指して研鑽している。そしてそれは診療のレベルを深化させる。しかし、専門を極めるだけでは私は息苦しい。

最近開店した立ち飲み屋に夫婦でちらっと寄った。料理の味で勝負の店ではないが、つまみの焼き鳥の身がかさかさ

で熱かった。『チンして出すんじゃないかめね、焼き鳥は専門店じゃないか』という。私は『電子レンジってすごい』と思った。



四国がんセンター病理診断室を守護する電子レンジ

電子レンジが、70年代に家庭に広がりだして以降、チンという魔法は、残り物や業務用冷凍食材があつという間にホカホカにし、夫の帰りを待たずに新妻を眠りにつかせ、一部の不心得者をにやにやさせてきた。食の流通を変え、家庭のあり方を変え、革新と不和を齎した。今やその多彩な機能はケーキ、鍋物、焼魚、焼売、炊飯、医学、哲学など様々なジャンルに影響を与えている。よって、現代社会史は電子レンジ前と後に分けられる。

実は90年代から電子レンジは医療業界にもその版図を広げている。がんの確定診断に重要な病理標本の作成は長時間を要する。その最も時間のかかる固定・脱灰・乾燥・免疫染色の所用時間は電子レンジを使えば1/10に短縮できる。標本作成後の病理専門医の診断時間もチンしたコーヒーがあれば少しだけ短くなる。

電子レンジは専門の対極の万能・多機能だ。しかし、その実は電流を電磁波に変えて水の分子を揺らすことだけを『専門』とする家電にすぎない。自らの専門性と広い分野にわたる貢献の見事な調和がここにある。

私の夢は電子レンジになることだ。もっとも、チンとって問題を解決できるのはレンジと一休さんだけが…

(がん予防・疫学研究部長 寺本 典弘)

新任医師紹介 New Physician



放射線治療科
医師

長崎 慧

平成22年愛媛大学卒業です。以前レジデントとしてこちらで研修させて頂き、がん治療の奥深さを教えて頂きました。再び四国がんセンターで働く機会を頂いたことを心から感謝しております。患者様に安心して放射線治療を受けて頂けるように精一杯努力します。どうぞよろしくお願致します。
趣味：ウクレレ、読書



呼吸器内科
医師

二宮 崇

7月より岡山大学保健管理センターより当院へ赴任しました二宮 崇と申します。平成15年卒で専門分野は肺癌を中心とした呼吸器疾患です。少しでも病院の皆様のお役に立てるよう頑張ります。どんなことでもご相談頂けると幸いです。何とぞ宜しく御願致します。
趣味：釣り、野球



頭頸科・甲状腺腫瘍科
医師

高橋 紗央里

4月1日より頭頸科・甲状腺腫瘍科へ赴任いたしました、高橋紗央里と申します。平成25年愛媛大学卒業です。前任地は広島県で、久しぶりに松山・東温へ戻って参りました。
地域の医療へ微力ではありますが尽力してまいります。何卒宜しくお願致します。
趣味：スポーツ観戦と音楽鑑賞



婦人科
医師

高畑 敬之

4月より婦人科に赴任いたしました高畑敬之です。これまで産婦人科一般に携わっていましたが、特に婦人科腫瘍の分野に興味がありますので、勉強をさせていただきたいと思っております。何卒よろしくお願致します。
趣味：読書



消化器内科
医師

井上 知謙

2018年4月から感染症・腫瘍内科レジデントとして、様々な分野の抗がん剤治療を学ばせていただきましたが、今年の春から消化器内科に所属することとなりました。生まれも育ちも愛媛県です。皆様のお役に立てるよう頑張りますので、何卒よろしくお願致します。
趣味：ドライブ



歯科
医師

堀 綾花

4月より歯科に赴任しました堀綾花と申します。京都出身で岡山大学を卒業し、当院赴任前は岡山大学病院で歯周病の分野と医科歯科連携の分野を中心に診療を行って参りました。至らない点多々あると思いますが、歯科の観点から患者様のがん治療に貢献できるように尽力させていただきます。よろしくお願致します。
趣味：スポーツ、旅行



呼吸器内科
医師

下西 惇

4月から岡山医療センターから当院へ赴任しました下西惇と申します。当院赴任前は岡山医療センターで呼吸器疾患一般の診療を行って参りました。病気が他人事とならないようにわかりやすく説明させていただくことを心がけています。まだまだ勉強中の身ではありますがよろしくお願致します。
趣味：サッカー観戦、将棋

がんセンター ハイ!一句 俳句ポスト



作品が選ばれましたら、四国がんセンターニュースと選者発行の「俳句ライフマガジン『100年俳句計画』」(月刊誌)へ掲載します。

選者：三瀬あき(俳句ライフマガジン「100年俳句計画」発行人)



特選 揺れやまぬ一樹ありけり春の山

(H.K子さん 82歳・女性)

H.K子さん、硬軟とりまぜた20句をご投句いただきました。春の山の中で一本だけ揺れ止まない樹。心の揺れか、春山の芽吹きか。格調高い一句です。同時投句【寄ればすぐ終活ばなし冬うらら】は一転楽しい一句。寄ればすぐにその話となってしまうお年頃。そんな仲間との時間が明るく楽しげなのは季語「冬うらら」の効果。

入選 鬼役と会話のはずむ節分会

(I.Fさん 92歳・女性)

鬼役と豆を投げる役。始まったら敵味方なのだけど、投げる前はいたってなごやか。豆まき行事のあるある場面に、ほっこりした気持ちになります。

入選 病棟の窓に鳩来て梅雨の空

(大浦淑子さん 77歳・女性)

鳩は昔、平和の象徴でしたが今はどうでしょう。鳩に取り合わせた季語が、春の空や夏の空であつたら、明るく好意的な気分を感じます。掲句の場合、梅雨の空。作者の重苦しい不安な心を映しているのかもしれませんが。

入選 稲茂る城下一眺光る海

(T.Hさん 68歳・男性)

句の解説と風景画も添えてあり、詠みたい内容がよく伝わりました。8階の病棟の窓からの景色は季節ごとに闘病生活を癒してくれたのでしょうか。今は稲刈り前。たわわの稲も、遠くの海も、きらきらと輝いて希望の光のようです。

入選 春爛漫赤子のごとく身を委ね

(森藤博明さん 67歳・男性)

「赤子のごとく身を委ねる」のは、入院生活でのことでしょうか。掲句には書かれていませんので、読者が春爛漫という季語を手掛かりに想像するしかありません。春爛漫からは、明るく幸せな気分を感じます。がんセンター俳句ポストというシチュエーションを離れたら、男女の恋愛句とも、ペットと飼い主の一場面とも、孫と祖父母の場面ともとれる、読みの広がる一句となりました。

入選 うれしい日幸せの日日たのしい日

(まさしくん 33歳・男性)

心にしみてくる五七五です。素敵な日だけを3回もつづけて言ってみて、言わずにいられなかったのでしょうか。作者の心情をいろいろと考えさせられました。



皆さんの「一句」募集中

患者さんのご要望で生まれた四国がんセンターの俳句ポスト、「ハイ!一句ポスト」。大変ご好評をいただいております。設置場所は、各階エレベーター前、図書コーナー、総合案内、支援センター「向日葵」で、作品は随時募集中です。患者さん、ご家族、面会の方、職員、どなたでも気軽にご投稿ください。皆さんの「自慢の一句」「楽しい一句」をお待ちしております。



治験 CHIKEN CORNER

ちけん

「当院では治験を実施しています」

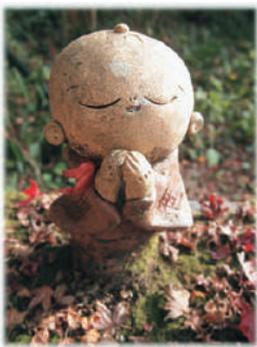
こちらは、治験・臨床試験管理室です。このコーナーでは、ただ今、募集の治験等の情報を提供しています。なお、当院HPにて、詳細情報を公開中です。

(治験主任 峯本 譲)

●現在募集の治験等情報

下記の件数は企業治験、医師主導治験、製造販売後臨床試験の「現在募集中の治験情報」です。

- | | | | | |
|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|
| ●肺がん……………16件 | ●胃がん……………11件 | ●前立腺がん……………9件 | ●卵巣がん……………10件 | ●子宮体がん……………2件 |
| ●悪性胸膜中皮腫…1件 | ●食道がん……………3件 | ●膀胱がん……………1件 | ●固形がん……………10件 | ●子宮頸がん……………3件 |
| ●胸腺がん……………1件 | ●大腸がん……………8件 | ●胆道がん……………4件 | ●悪性リンパ腫………3件 | (令和2年9月10日現在) |
| ●乳がん……………16件 | ●膵がん……………1件 | ●尿路上皮がん………7件 | ●子宮癌肉腫……………1件 | |



大洲市「白滝公園」 コロナ終息を祈って…
撮影：高市 瑞穂

外来診療一覧表

- 新患受付時間 7:30~12:00
- 診療時間 8:30~17:15
- 休診日：土・日・祝日及び年末年始

担当医は変更となる場合があります
のでご了承ください

四国がんセンター概要

〒791-0280
愛媛県松山市南梅本町甲160
TEL: 089-999-1111
FAX: 089-999-1100
<https://shikoku-cc.hosp.go.jp>

環境

“いで湯と城と文学の街”ここ愛媛の松山はノスタルジックあふれる城下町。当院はこの城下町の南東に位置し、東に霊峰石鎚、北に道後温泉、西に伊予灘を望み、自然に恵まれた最高の療養環境に立地しています。

交通機関も伊予鉄巡回バスの運行など便を増やすことで来院も便利になりました。

今後とも患者さんの視点に立った細かな配慮を心がけ、西日本を代表する「がん専門病院」として精進いたします。

診療内容

- | | |
|-----------|--------------|
| 呼吸器内科 | 乳腺外科 |
| 呼吸器外科 | 婦人科 |
| 消化器内科 | 頭頸科・甲状腺腫瘍科 |
| 消化器外科 | 骨軟部腫瘍・整形外科 |
| 精神腫瘍科 | 形成・再建・皮膚腫瘍外科 |
| 緩和ケア内科 | リハビリテーション科 |
| ストーマ外来 | リンパ浮腫 |
| 禁煙外来 | 放射線診断科 |
| 泌尿器科 | 放射線治療科 |
| 血液腫瘍内科 | 病理診断科 |
| 感染症・腫瘍内科 | 歯科 |
| セカンドオピニオン | 麻酔科・疼痛外来 |
| 遺伝性がん診療科 | がんドック |
| がん看護外来 | 原発不明がん診療科 |

病床数 368床

当院は予約制を行っており、予約患者さんを優先しております

診療科		月	火	水	木	金	
消化器	内科	食道・胃・大腸	梶原(化)/中舎(化) 西出(内)	仁科(化)	仁科(化) 堀(内)	梶原(化) 日野(化)	中舎(化) 坂口(化) 長谷部(内)
		肝・胆・膵	灘野	浅木	寺尾		灘野
	外科	食道・胃		羽藤		野崎/香川	
		大腸	小林	落合		予小島	予★落合/☆小島
呼吸器	内科	○原田	○原田	○上月	佐伯	原田	
	内科	○上月	○佐伯	○二宮	上月	二宮	
	外科	山下(素)	上野	末久	山下(素)	重松	
	禁煙外来				○末久		
緩和ケア・精神腫瘍科		三浦(緩和)	谷水(緩和)	成本(緩和)	落合(精神)		
泌尿器科		橋根		橋根		松村	
		富田		松村		富田	
		新井		井内		井内	
血液腫瘍内科			吉田		吉田		
感染症・腫瘍内科		○濱田			○濱田		
婦人科		○竹原/△藤本	予婦人科医師	竹原	予婦人科医師	○大亀/△藤本	
		横山		大亀		横山	
		高畑		藤本		高畑	
乳腺外科		青儀	大住		青儀	大住	
		高嶋	高橋	高橋	高嶋	三好	
			○三好				
形成外科		○山下(昌)	○山下(昌)	○河村	○中山		
皮膚科		○藤山	○藤山	○藤山	○藤山	○藤山	
頭頸科・甲状腺腫瘍科 (耳鼻咽喉科)		門田	○担当医	門田	○担当医	秋定	
		秋定		高橋		高橋	
		林		林		門田/中村	
骨軟部腫瘍・整形外科		○杉原/△担当医		○杉原/△担当医	△杉原	○杉原/△担当医	
放射線	診断科	菅原	桐山	清水	菅原	細川	
	治療新患	濱本	濱本	長崎	神崎	神崎	
	治療科	長崎	★長崎/神崎 ☆神崎/長崎	△濱本	長崎	長崎	
		神崎		濱本	濱本	濱本	
予ストーマ外来			落合	○橋根	○小島		
予リンパ浮腫外来			○河村		○山下(昌)	○中山	
リンパ浮腫ケア外来			リンパ浮腫ケア(自費)			リンパ浮腫ケア(自費)	
予麻酔/疼痛外来		首藤(聡)	原田			武智	
原発不明がん診療科		担当医	△青儀	担当医	担当医	担当医	
予セカンドオピニオン		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
予がんゲノム医療外来				△担当医			
予遺伝性がん診療科			○山本		○山本		
がん看護外来							
がんドック		酒井	徳永	酒井	徳永	酒井	
		日野	治療内視鏡	○白石/△日野	坂口	堀	
		堀	治療内視鏡	西出	西出	○日野	
内視鏡生理検査		長谷部	治療内視鏡	長谷部	長谷部	寺尾	

予…予約のみ ○…午前のみ △…午後のみ ★…奇数週 ☆…偶数週 (化)…化学療法担当 (内)…内視鏡治療担当
※診療担当は変更する場合がありますので、事前にご確認ください。

TRAFIC ACCESS 交通のご案内



車でお越しの場合

- 車
- 松山空港から車で 約45分
 - JR松山駅から車で 約30分
 - 松山市駅から車で 約25分
- 松山自動車道
- 松山インターから車で 約20分
 - 川内インターから車で 約20分

電車・バスでお越しの場合

